

第4回 千葉県少年野球秋季女子大会【ナガセ・トップ杯】



2019年 10/22(祝)・26(土)中止 27日(日)・11月17日(日)

- ・市川 国府台野球場
- ・市川 妙典野球場①
- ・市川 妙典野球場②
- ・市川 国分グランド

台風19号の影響で、開会式や大会日程が大幅に変更になりました。皆様のご協力により試合進行ができました。ありがとうございました。

《参加チーム》

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ★葛南フラワーズ(葛南) | ★千葉ドリームガールズ(千葉) |
| ★やまゆりガールズ(かずさ・安房) | ★市原ガールズ(市原) |
| ★市川ガールズ(市川) | ★東総LADYS(東総) |
| ★山武ガールズ(九十九) | ★船橋女子選抜(船橋) |
| ★イーストエンジェルス(東葛) | ★なでしこチャーム(北総) |
| ★柏女子選抜(柏) | ★オレンジールズ(東葛) |
| ★習八TOMUBOY(八千代・習志野) | |

《試合結果》

- 優勝 なでしこチャーム (北総地域)
- 準優勝 柏女子選抜 (柏地域)
- 第三位 市川ガールズ (市川地域)
- 第三位 千葉ドリームガールズ (千葉地域)

★ なでしこチャーム 主将 山崎 絵梨 (ヤマザキ カイリ)

昨年のチャームは準優勝、優勝と良い成績だったので先輩方の時みたいに良い成績を残そうと頑張ってきました。また、キャプテンとしての責任も果たそうと頑張ってきました。準決勝では、先制されたけどチームのみんなで力を合わせて勝ちました。決勝ではサドンデスになったけど昨年の経験を活かし優勝することが出来ました。優勝できたのはチームのみんなや監督、コーチ、代表のみんなの気持ちが一つになったからだと思います。この経験をこれから活かしていきたいです。



★ なでしこチャーム 推薦選手 小野田 咲 (オノダ サキ)

私は3年生の春から野球を始め、5年生の時になでしこチャームに入りました。チームに入ってから2年間でたくさんの良い思い出が出来ました。中でも強く感じた事は2つ。「チームの絆」「楽しむ野球」です。試合中ピンチに陥った時に、仲間からの励ましや応援の声はとても心強かったです。信頼出来る仲間と楽しみながら、なでしこの一員として野球が出来たことが嬉しかったです。秋の大会で優勝出来たことも、みんなで楽しみながら野球を続けてきた結果だと思います。支えて下さった方々、応援して下さいました。本当にありがとうございました。



★ なでしこチャーム 監督 初芝 靖夫 (ハツシバ ヤスオ)

今年のチームは昨年のメンバーが4人しかいなくて不安なスタートでしたが、その不安を一掃してくれるメンバーが集まりました。春の大会では緊張のせいか本来の実力を出せないうまま予選で終わってしまいました。秋の大会は昨年に続き連覇を目標に大会に臨みました。緊迫した試合でしたが、見事子どもたちの頑張りによって優勝することが出来ました。良い思い出ができたことは本当に良かったと思います。最後になりますが、すべての関係者の方々に深く感謝申し上げます。



★ 柏女子選抜 副キャプテン 川口 ゆき (カワグチ ユキ)

私は春秋連覇を目標にこの大会に挑みました。全員そろっての練習ができず不安でしたが、監督やコーチに一生懸命指導してもらいました。準決勝は初回に1点先制されてしまいましたが、このチームの特徴でもある集中打で逆転し、6対1で勝ち、決勝戦に進むことができました。決勝戦は0対1で負けてしまい、目標を達成することができず悔しい思いもしたのですが、柏女子選抜というチームで明るくて楽しい野球で春優勝、秋準優勝できたことはとても良い経験になりました。この経験を胸に中学でも頑張りたいと思います。



★ 柏女子選抜 優秀選手 西澤 一花 (ニシザワ イチカ)

私は、5年生の時に柏女子選抜に参加しました。今年の春の大会は優勝し、全国大会では2回戦で惜しくも2-1で敗退してしまいましたがとても良い経験となりました。今回の大会では、決勝までのぼりつめました。延長戦になってしまい最後1点入れられてしまっただけで準優勝で終わってしまいました。女子選抜での最後の大会で春秋2連覇を目指していたので優勝できなくて悔しかったです。残り少ない小学校生活、悔いが残らないように野球を頑張りたいです。



★ 柏女子選抜 監督 小田部 英彦 (コタベ ヒデヒコ)

未だどのチームも成り立っていない「春・秋連覇」を目標にこの大会に挑みました。春の大会とは違いくどのチームも力を付けており厳しい戦いが続きました。予選の習八TOMBOYさん、準決勝の市川ガールズさんには先制されながらも逆転勝利、決勝のなでしこチャームさんは7回まで0行進の息詰まる投手戦、タイブレークでサヨナラ負けを喫し連覇の夢は絶たれましたが、選手たちは最後まで「笑顔」で諦めず戦ってくれました。春季大会の優勝、全国大会出場、秋季大会準優勝と今年のチームにはたくさんの思い出を頂きました。本当に選手たちには感謝の言葉しかありません。最後に父兄の皆様、大会関係者の皆様、本当にありがとうございました。

